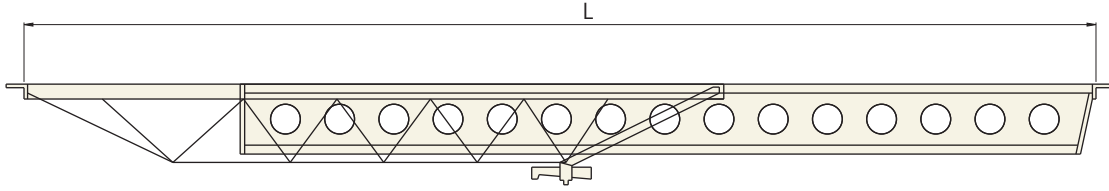


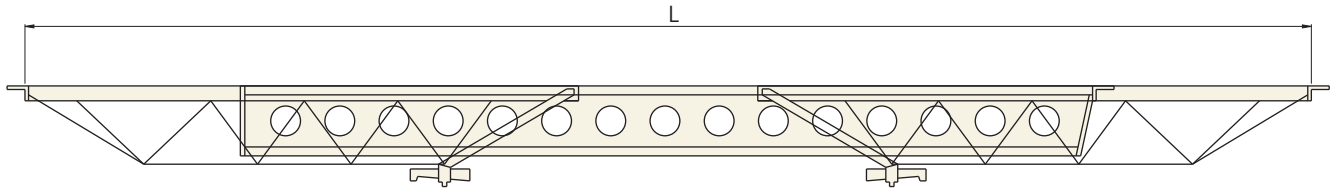
2本継ぎ



外ビーム	内ビーム	ℓ調節長 (cm)	重量 (kg)
L5	P5	1,870~2,830	31.1
	P9	2,885~4,260	44.7
L7	P5	2,360~3,245	34.8
	P9	2,885~4,675	48.4
L9	P5	3,005~3,865	40
	P9	3,005~5,315	53.6

※注意
ペコビームのスパン長さは、スパン寸法から約10mm差引いた長さに調節して使用してください。
(即ち、片側爪部で5mm程度の間隙をあけてください。)

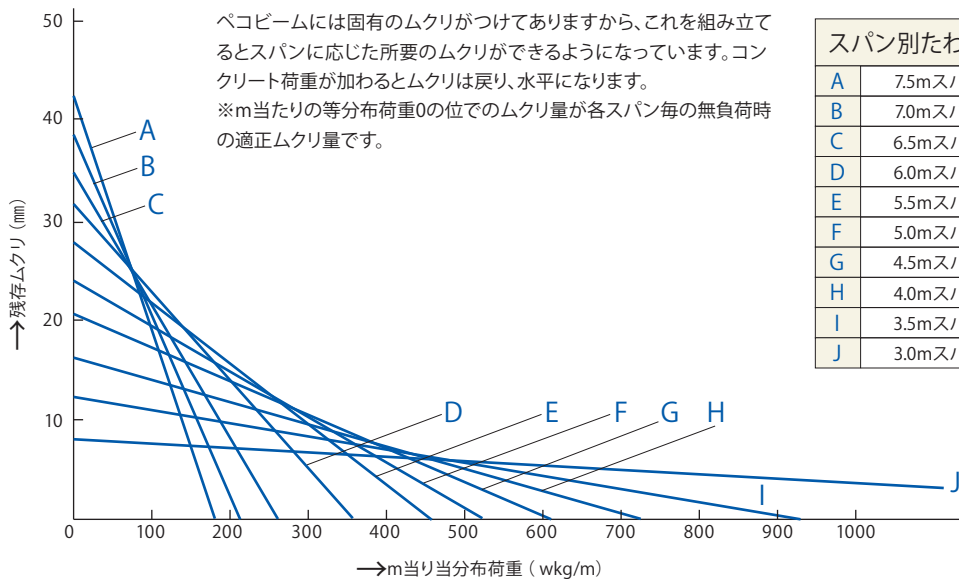
3本継ぎ



内ビーム	外ビーム		ℓ調節長 (cm)	重量 (kg)	内ビーム	外ビーム		ℓ調節長 (cm)	重量 (kg)
P5	L5	L5	3,720~4,160	47.8	P9	L5	L5	3,720~5,585	61.4
	L5	L7	4,210~4,575	51.5		L5	L7	4,210~6,005	65.1
	L5	L9	4,850~5,215	56.7		L5	L9	4,850~6,645	70.3
	L7	L7	4,705~4,985	55.2		L7	L7	4,705~6,415	68.8
	L7	L9	5,345~5,625	60.4		L7	L9	5,345~7,055	74
	L9	L9	5,985~6,270	65.6		L9	L9	5,985~7,700	79.2

※注意
必ず許容曲げモーメント以内で使用してください。
また、ペコビームの中間にサポートなどで補強すると局部座屈及び横座屈が生じるため、絶対に中間でサポートしないでください。

残存ムクリ表



ペコビームには固有のムクリがつけてありますから、これを組み立てるとスパンに応じた所要のムクリができるようになっています。コンクリート荷重が加わるとムクリは戻り、水平になります。
※m当たりの等分布荷重0の位でのムクリ量が各スパン毎の無負荷時の適正ムクリ量です。

A	7.5mスパン
B	7.0mスパン
C	6.5mスパン
D	6.0mスパン
E	5.5mスパン
F	5.0mスパン
G	4.5mスパン
H	4.0mスパン
I	3.5mスパン
J	3.0mスパン